

2025/8/21

第5回レジリエンスサロン

日時: 2025 年 8 月 20 日 (水) 8:00 PM~ (約 60 分)

内容: 情報紹介 (以下、敬称略)

情報提供者: 理事 荒木道雄

司会: 理事 藤田裕之 (ZOOM会議コントロール)

出席者: 副会長 増田幸宏、幹事 上田悦久、徳田光雄 合計: 5 名

要約: 「内閣府の防災ページ」記事紹介 など https://www.bousai.go.jp/oyakudachi/info_general.html ↓

(1) 防災×テクノロジー 官民プラットフォーム と 事例紹介 2 件

1) 京都府福知山市: 避難情報発令支援システム (R5 年度よりシステム稼働)

京都府福知山市の河川水位情報や監視カメラ画像を活用した避難情報発令支援システムの事例紹介

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/doc/fukuchiyamashi.pdf>

2) 愛媛県松山市: 松山市デジタル版マイ・タイムライン防災サービスの導入 (R5 年 4 月運用開始)

中学生 4000 人に対する防災学習のデジタル化についての事例紹介

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/doc/matsuyamashi.pdf>

(2) R7 年度ぼうさい No.113 ↓ 特集 国際防災世界会議から 10 年 一部の記事紹介

<https://www.bousai.go.jp/kohou/kouhoubousai/r07/113/index.html>

1) 防災庁設置準備アドバイザー会議 (第 4 回): 2025 年 4 月 4 日までは議事録/閲覧可能 ↓

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bousaichou_preparation/index.html

2) 第 1 回 高齢者、障害者等の避難に関する作業グループ議事概要 (R 元年 8 月 6 日)

[no2_ref2_giji.pdf](#)

大阪北部地震&台風 21 号 その時私たちはどう動いたか 豊中市社会福祉協議会 (全 34 ページ PDF)

https://www.bousai.go.jp/taisaku/hisaisyagyousei/hinan/2/pdf/no2_shiryo1_toyonaka.pdf

<質疑>

(上田) 福知山市の避難指示システムにより自治体が住民へ避難指示を出すという件だが、気象庁からの避難指示と混乱は生じないのか。

→ (藤田) 気象庁の避難指示情報に基づき、地方自治体が住民への避難指示を行う体制となっている。

(徳田) 気象庁の警報が県境を越えて発令される場合の防災対策について、災害に応じて区割りを変更することとは考えられないか。

→ (藤田) 京都市では気象庁の警報に基づいて防災対策本部を発令し、各区も同様に体制を組む。行政区の区割りは住民の行き来や交通の便を考慮して長い歴史を経て決定されており、災害に応じて区割りを変更することは実現不可能である (選挙区の変更も発生する)。

(増田) 防災庁設置の重要性と危機管理学会での学習経験を共有した。マンション防災学会では、都市部の中高層共同住宅を前提とした防災のあり方について研究が継続中であるという情報の共有があった。

(荒木) 防災庁設置準備アドバイザー会議では、防災教育 (ソフト面) の重要性を強調されるアドバイザーが多く居られ、防災研究等の若い世代の人材育成が重要であるという意見を確認した。

(藤田) 防災庁の概念が自然災害に特化することで、国民統制的な印象を与える可能性に懸念を表明した。

(荒木) 防災庁の設置に関する情報および内閣府・防災サイト情報を継続的に収集し、会員と共有する。

(藤田) 9 月サロンは休会とし、次回 10 月サロン開催に向けて話題提供を求める予定である。

以上